平成とうや病院 地域交流誌

なかま

2026 年 秋号 vol.51

ご自由にお持ちください

職員が金峰山の登山道から一歩入った場所で出会った、秋の一コマです。
一面を彩る落ち葉の中央には、どっしりとした切り株。その上に置かれた平たい石と丸まった落ち葉は、まるで絵本の一場面のよう。「誰かがお料理していたのかな？」と、そこに残された気配に想像が膨らみ、思わず頬がゆるみます。

特集

Doctor's EYE 医師の視点から

これからの季節、注意したい感染症
―ARIと感染性胃腸炎―

平成とうや病院
院長補佐
医療連携・患者支援部長
地域連携室長
呼吸器内科医師
森（もり） 孝志（たかし）

寒くなると、急性呼吸器感染症（ＡＲＩ）や感染性胃腸炎などさまざまな感染症が流行しやすくなります。特にこれからの季節、注意したいのが、インフルエンザやノロウイルス感染症です。どちらも身近な感染症ですが、感染する経路や症状、予防のポイントには違いがあります。正しい知識を身につけ、日常生活の中でできる対策を続けましょう。

❶ＡＲＩとは？

ＡＲＩ（Acute Respiratory Infection：急性呼吸器感染症）とは、鼻やのど、気管支、肺など**呼吸器**に急に起こる感染症の総称で、**風邪(普通感冒)、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、ＲＳウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症をまとめた総称**と考えると分かりやすいでしょう。発生は一年を通してみられます。原因にはさまざまなウイルスや細菌がありますが、これからのシーズンはインフルエンザを主体に増えてきます。

こんな症状に注意

発熱、のどの痛み、鼻水・鼻づまり、せき、痰、倦怠感、関節痛、頭痛などの症状です。例えば、一般的な風邪では、鼻水やのどの痛み、咳などが多いとされていますが、インフルエンザでは突然の高熱や強い倦怠感、関節痛などがあります。ただし、症状だけでは原因となる病原体を区別できません。

「風邪だから大丈夫」とは限りません

多くのＡＲＩは自然に改善しますが、すべてが軽症とは限りません。特に、高齢者、乳幼児、妊婦、基礎疾患のある方、免疫機能が低下している方などではＡＲＩをきっかけに、肺炎などの重い合併症を起こすこともありますので、注意が必要です。

●こんなときは早めに医療機関を受診しましょう

呼吸が苦しい、意識がおかしい。また、のどが痛くて口が開けられない・声がこもっているなどの症状がある場合は、緊急性が高い重症の細菌感染症などの可能性があります。

ＡＲＩを防ぐ基本は「マスク・咳エチケット、手洗い、換気」

ＡＲＩの予防には、毎日の基本的な感染対策が大切です。

①マスク・咳エチケット

飛沫（しぶき）には多くの病原体が含まれていて、感染はこの飛沫から始まります。咳やくしゃみがあるときは、マスクを着用するなど、**病原体を周囲に広げないよう配慮**をしましょう。

②手洗い

外から帰ったとき、人と接触したあとなど、石けんと流水でしっかり**泡を立てて**手を洗いましょう。手洗いが難しい場合には、手指消毒用アルコールなどを利用する方法もあります。ただし、ハンドクリームのように塗り拡げるやり方では、効果は低くなります。**指先を中心に**指の間など手全体に塗り拡げましょう。

③換気～部屋の空気を入れ替えましょう

冬は寒さのため、窓を閉め切りがちです。短時間でも定期的に換気を行いましょう。窓とドアを同時に開けると、病原体が家中に広がる可能性がありますので、窓の両端を開けて2方向換気を行います。

ＡＲＩ対策

マスク・咳エチケット

せきやくしゃみがある時はマスクを着用し、周囲に感染を広げない配慮をしましょう。

手洗い

外から帰った時、食事の前、トイレの後など石鹸と流水でしっかり洗いましょう。

換　気

寒くても室内に空気がこもらないよう、定期的に換気をしましょう。

❷感染性胃腸炎とは？

感染性胃腸炎は、**ウイルスや細菌などが原因となって、胃や腸に炎症を起こす感染症**です。

冬には、**ノロウイルス**などによる感染性胃腸炎が流行しやすくなります。主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などです。特に嘔吐や下痢が続くと、体の水分が失われ、**脱水症状**を起こすことがありますので、高齢者や乳幼児では、特に注意が必要です。

感染性胃腸炎は「手から口」に注意！

感染性胃腸炎は、**カキの生食**など以外にも病原体が付着した**手や食品などを介して**感染することがあります。たとえば、感染した人がトイレの後に十分な手洗いをしないまま、ドアノブや手すりなどに触れると、そこに病原体が付着することがあります。その場所を別の人が触り、その手で口や食べ物に触れることで感染する可能性があります。

そのため、感染性胃腸炎の予防では、**手洗いが非常に重要**です。

嘔吐物の処理は「すばやく・正しく」

嘔吐物には感染性の病原体が含まれていることがあります。家庭などで嘔吐した人がいた場合は、素手で触らず、手袋やマスクなどを使用して、周囲への飛散をできるだけ防ぎながら処理しましょう。

また、嘔吐物が付着した場所は、適切な方法で清掃・消毒することが大切です。嘔吐物が乾燥すると、周囲に広がる可能性があるため、できるだけ早く対応しましょう。**消毒に使う溶液については、表1を参考**にしてください。

感染性胃腸炎

食品衛生

食材はよく加熱し、調理器具の消毒や食品の取り扱いに注意しましょう。

嘔吐物の処理

素手で触らず、手袋・マスクを使用して、周囲への飛散を防ぎながら、素早く処理しましょう。「乾いてから掃除」ではなく、できるだけ早く対応しましょう。

●冬の感染症対策は「一人ひとりの行動」から

ARIも感染性胃腸炎も、完全に防ぐことは難しい感染症です。

しかし、**「マスク・咳エチケット・手洗い・換気」**など、基本的な対策を組み合わせることで、感染する機会を減らすことができます。

また、**体調が悪いときは無理をせず、できるだけ人との接触を控える**ことも大切です。

「自分が感染しない」だけでなく、家族や周囲の人にうつさないという視点も忘れないようにしましょう。

この冬も、**正しい知識と基本的な感染対策**で、元気に過ごしましょう。

ノロウイルスの消毒について

表1

項目	調理器具等	ドアノブ、カーテン リネン類、日用品等	トイレ・浴槽	おう吐物等
次亜塩素酸濃度	0.02%（200ppm）	0.02% ～ 0.05%（200～500ppm）	0.03% 以上（300ppm 以上）	0.1%（1000ppm）
処理方法 注意点	洗剤などで十分に洗浄した後、次亜塩素酸ナトリウムで浸すようにペーパータオル等で拭く（加熱できる物については熱湯での加熱が有効）。	次亜塩素酸ナトリウムで浸すようにペーパータオル等で拭く。	次亜塩素酸ナトリウムで浸すようにペーパータオル等で拭く。	おう吐物等は、ウイルスが飛び散らないようにペーパータオル等で静かに拭き取り、ビニール袋に密閉して廃棄する（この際、ビニール袋に廃棄物が十分に浸る量の次亜塩素酸ナトリウムを入れることが望ましい）。

（厚労省）

家庭用塩素系漂白剤を使用する場合の希釈の目安

直射日光に当たる場所や高温での保管をしていない場合

	0.02%（200ppm）以上※	0.05%（500ppm）以上※	0.1%（1000ppm）以上※
希釈の目安	水 3 リットルにキャップ約 1/2 杯（12ml）	水 1 リットルにキャップ約 0.4 杯（10ml）	水 1 リットルにキャップ約 0.8 杯（20ml）

※次亜塩素酸濃度 (KAO)

消毒は家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤で代用できます(厚労省Q&A)。

（参考）ハイター（衣料用塩素系漂白剤）の主成分は、次亜塩素酸ナトリウムと強アルカリの水酸化ナトリウムです (KAO)。

正しい知識を身につけ、
日常生活の中でできる
対策を続けましょう

薬剤部からのお知らせ

前ページの「これからの季節に注意したい感染症」に関連し、
「抗インフルエンザ薬・抗コロナ薬の一覧と適正使用」についてご紹介いたします。

当院で取り扱う主要な抗ウイルス薬の「成人用量」「主な特徴」「予防投与の適応」をまとめました。
日々の診療や適正使用の推進にご活用ください。

抗インフルエンザ薬一覧

一般名	商品名の例	投与方法	成人治療の用法用量	主な特徴	予防投与＊
オセルタミビル	タミフル®	内服	1回75mgを1日2回、5日間	・小児にも使用しやすい ・腎機能により用量調節 ・安価	可
ザナミビル	リレンザ®	吸入	1回10mg(2ブリスター)を1日2回、5日間	・吸入できる患者が対象 ・全身性副作用がすくない	可
ラニナミビル	イナビル®	吸入	40mg(2容器)を単回	・1回の吸入で治療完了 ・全身性副作用がすくない	可
ペラミビル	ラピアクタ®	点滴静注	300mgを単回（連日投与可）	・経口・吸入が困難な患者、入院患者などで有用 ・腎機能により用量調節	
バロキサビル マルボキシル	ゾフルーザ®	内服	40mgを単回（80kg未満）	・1回の内服で治療完了 ・作用機序が他4剤と異なる	可

抗コロナ薬一覧

一般名	商品名	投与方法	成人治療の用法用量	主な特徴	予防投与＊
ニルマトレルビル／リトナビル	パキロビッド®	内服	1回300mg/100mgを1日2回、5日間（成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児、腎機能正常）	・重症化リスクの高い患者に使用 ・薬物相互作用が非常に多い ・妊婦にも使用可 ・腎機能により用量調節	
エンシトレルビル　フマル酸	ゾコーバ®	内服	1日1回、初日375mg、2日目から5日目は125mg（成人及び12歳以上の小児）	・主に軽症～中等症。 ・1日1回、5日間薬物相互作用が多い	可※
モルヌピラビル	ラゲブリオ®	内服	1回400mgを1日2回、5日間（18歳以上の成人）	・重症化リスクの高い患者に使用 ・妊婦等には使用不可	
レムデシビル	ベクルリー®	点滴静注	1日1回、初日200mg、2日目以降(最大10日まで)100mg（成人および体重40kg以上の小児）	・入院患者・重症化リスクの高い患者などで使用 ・内服困難例にも選択肢	

＊自由診療（保険給付対象外）
※COVID-19患者の同居家族または共同生活者のうち、重症化リスク因子を有する者

AIが支える、これからの医療

AI、電子カルテ、オンライン予約、リモート機器連携…医療の現場では、さまざまなデジタル技術が患者さまの安心を支えています。
本シリーズでは、平成とうや病院で活用されているAI・デジタル技術を取り上げ、診療にどう役立っているのかを分かりやすくご紹介します。

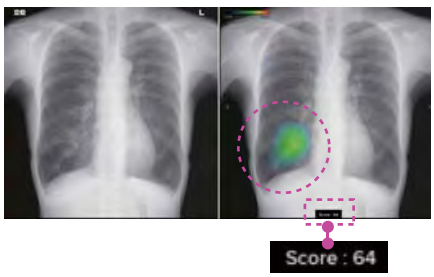
第1回　AIと最新デジタル連携で、より安心・迅速な画像診断へ

患者さまが安心して検査を受けられるよう、放射線科ではデジタル化とAIの導入を進めています。頭部CTや胸部写真では、AIが異常の疑われる部分を強調表示し、見落とし防止に役立っています。

また、撮影画像と診断結果を一元管理する仕組みを整えたことで、診察室の医師への情報共有が大幅に迅速化しました。医療の安全性を守りながら、的確な診断をスピーディーに行えるようになりました。

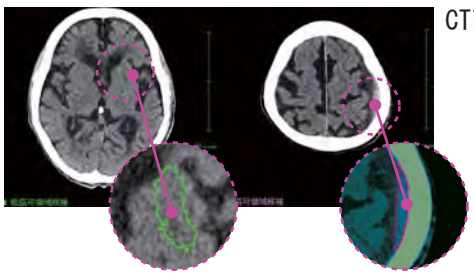
放射線科主任　高橋 晃

AIは医師に代わって診断するのではなく、医師の判断を支える「もう一つの目」として活躍しています。



胸部X線

AIが画像解析を行い、病変が疑われる場所をカラー表示とScore表示で強調。
医師にその部分を再確認してもらうことで見落とし防止の支援を行います。



CT画像

AIが画像解析を行い、病変が疑われる場所の輪郭を表示し強調。
医師にその部分を再確認してもらうことで見落とし防止の支援を行います。

※低信号領域候補
脳梗塞等が疑われる場所

※高信号領域候補
脳出血が疑われる場所

入職して半年が経ちました

2026

2026 年 4 月、
平成とうや病院に
24 名の新人職員が
入職しました。
そのうち 4 名に
インタビューを行いましたので、ご紹介します。

新人紹介

VOICES

Speech therapist
言語聴覚士

入職して半年が経ち、これまでを振り返ると、あっという間の半年間だったと感じています。
入職当初は初めての環境の中で、業務の進め方や患者さまとの関わり方などわからないことばかりで、戸惑う場面も多くありました。しかし先輩方から日々丁寧にご指導いただき、今では安心して仕事に取り組むことができています。今は患者さま一人ひとりの生活背景を考え、その方に合ったリハビリテーションを提供する大切さを感じています。一方で、自分の知識や経験不足を感じることも多く、まだまだ勉強が必要だと痛感しています。
今後は、日々の業務や患者さまとの関わりから得た学びを、振り返りや自己学習につなげ、少しずつ自分の力として身につけ、患者さまやご家族さまから信頼される言語聴覚士になれるように頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

Nurse
看護師

病院見学に来た際に、病院全体の温かく明るい雰囲気が印象に残り、入職を決めました。
入職当初は分からないことや初めて経験することも多く、緊張する毎日でしたが、入職して半年が経ち、少しずつ病棟の環境にも慣れ、できることも増えてきました。東 4 病棟では、スタッフ同士が声を掛け合い、チームで支え合いながら患者さまの看護をサポートしています。先輩方が優しく丁寧に指導してくださり、分からないことを質問しやすい環境の中で、安心して業務に取り組むことができています。日々の患者さまとの関わりを通して、一人一人の状態や思いを考えながら看護することの大切さを学びました。これからも先輩方から学んだことを活かし、日々の経験を大切にしながら知識や技術を身に付け、患者さまに安心してもらえる看護師を目指して成長していきたいです。

Medical technologist
臨床検査技師

入職して半年が経ちました。最初は慣れない環境に不安や緊張もあり思うようにいかないことも多くありましたが、優しい先輩方に丁寧に教えていただき少しずつできることが増えてきました。
様々な検査を経験する中で、覚えることの多さや検査の難しさを感じることもありますが、その分、新たに学ぶことも多く、日々勉強になっています。まだまだ分からないことも多く先輩方に助けていただくこともありますが、教わったことを一つ一つしっかりと身につけ、分からないことをそのままにせず積極的に学んでいきたいと思います。
日々の経験を大切にし、安心して仕事を任せていただける検査技師を目指し、これからも努力していきたいです。

Physical therapist
理学療法士

病院見学に伺った際、スタッフの方々が笑顔で元気よくリハビリに取り組まれている雰囲気に魅力を感じました。また、充実した教育制度のもとで、知識や技術を身につけながら成長できる環境だと感じたことも、入職を決めたきっかけです。
半年が経って少しずつ環境にも慣れ、患者さまが元気になって退院される姿を見ることが大きなモチベーションであり仕事のやりがいにも繋がっています。また、先輩方が気軽に質問できる雰囲気を作ってくださるため、疑問に思ったことは積極的に質問しながら、日々新しい知識や技術を吸収しています。
毎日のリハビリを楽しく前向きに取り組んでいただけるような理学療法士を目指し、一日でも早く一人前になれるように頑張ります。

14 平成とうや病院 栄養部 Recipe

Autumn

季節の身体に嬉しいレシピ

季節に合わせた身体に嬉しいレシピ！（熊本の野菜を使って）

今年の夏も記録的な暑さになりましたね。連日の猛暑に疲れを感じた方も多かったと思います。ようやく秋になりましたが、まだまだ残暑で疲れやすく、日中と朝夕の寒暖差によって体調を崩しやすい時期です。そんな時期におすすめの、体を内側から温める、旬の食材を使った栄養たっぷりのメニューを2品紹介します。

熊本のさつまいもの産地といえば、大津町。阿蘇山麓の火山灰土と温暖な気候がさつまいも栽培に適しており、江戸時代から栽培されているそうです。さつまいもは水溶性と不溶性の食物繊維をどちらも含みますが、特に不溶性食物繊維を多く含み、便のかさを増やして腸の働きを促すことで、おなかの調子を整える働きがあります。

また、肌の健康維持や、健康な体づくりに役立つとされるビタミンCも含まれています。一般的にビタミンCは熱に弱い性質がありますが、さつまいもはでんぷんを多く含み、加熱によるビタミンCの損失が比較的少ないとされています。腸内環境を整えながら、肌の健康維持にも役立つさつまいも。毎日の食事に取り入れたい食材ですね。

サンドイッチには鮭を使用しました。秋（9～11月頃）に産卵のために川へ戻ってくる鮭を「秋鮭」といいます。さっぱりした味わいが特徴で、ムニエルやフライなど油を使った料理との相性が良いです。

また、鮭やカニ、エビなどの赤色は、アスタキサンチンによるものです。アスタキサンチンには抗酸化作用があり、健康維持に役立つ成分として注目されています。鮭といえばご飯のおかずのイメージが強いかと思いますが、サンドイッチの具材として手軽に取り入れるのもおすすめです。

秋が終わると、寒い冬がやってきます。夏の疲れを癒やしながら、冬に備えてしっかり栄養を取り、季節の変化に負けない体づくりを目指しましょう。

管理栄養士　古閑 華世
栄養士　永平 綾香

01 秋鮭のサンドイッチ（2人分）

【材料】
食パン（8枚切り）4枚
鮭 2切れ（200g程度）
塩こしょう 少々
マヨネーズ 大さじ4
マスタード 小さじ2
卵3個
塩少々
レタス 4～6枚

【作り方】
❶食パンを、トースターで軽く焼き色が付くまで焼いておく
❷鮭に塩こしょうで軽く下味を付け、フライパンで火が通るまで焼きほぐす。
❸卵は塩を入れ溶き、スクランブルエッグを作る。
❹マヨネーズとマスタードを和え、トーストした食パンの片面に塗る。
❺レタス、鮭、スクランブルエッグをはさみ、ラップやクッキングシートで包み、しばらく置いておく。
❻食べやすい大きさにカットしたら完成。

02 さつまいものチャウダー（2人分）

【材料】
皮付きさつまいも 100g
ベーコン 20g
玉ねぎ 20g
ほうれん草 30g
しめじ 1/2 パック
オリーブオイル 小さじ1/2
にんにく(チューブ) 小さじ1/2
水 200ml
コンソメ 小さじ2
牛乳 200ml
塩 少々
ブラックペッパー お好みで

【作り方】
❶さつまいもは1cm角に切り水にさらしておく。ベーコンと玉ねぎは角切り、ほうれそうは3cm程にカットし、しめじはほぐす。
❷鍋にオリーブオイルとにんにくを入れ、中火でベーコン炒める。
焼き色がついたら、玉ねぎ、ほうれん草、しめじも加え軽く炒め合わせる。
❸水とコンソメ、さつまいもを入れ、蓋をして中火で5分ほど煮る。
❹牛乳を加え、塩こしょうで味を調えて完成。

地域活動のサロン参加報告

清和会の基本方針に基づき、地域の皆さまが住み慣れたこの地域で安心して過ごせるよう、地域活動を支援しております。

7月「100nenカフェ」

暑さも厳しくなってきた7月初旬。田井島公民館にて行われる100nenカフェに出かけてきました。
年に2回あるうちの評価月ということで、普段の生活をお聞きするアンケート調査と、運動機能評価を実施しました。
また『夏バテと熱中症の違い』に関する講話もさせていただき、なんとなく聞いたことがある情報を整理し、酷暑を乗り切るためのヒントをみなさんで共有してきました。
次回の開催日に元気な姿でお会いしましょう!

9月「画図健康クラブ(画図コミュニティセンター)」

当日は約25名の皆さんが参加され、棒を使った体操や脳トレなど様々な活動に楽しく取り組まれていました。皆さん元気に身体を動かし、笑い声が響くなど、会場は終始明るく活気ある雰囲気に包まれていました。また活動の合間にも参加者同士で声を掛け合ったり、談笑したりする姿が多く見られ、日頃から築かれている地域のつながりの深さが感じられました。健康作りだけでなく、人と人との交流やつながりを育む場としても、大切な役割を果たしていることが伝わってくる活動でした。
私達も地域の皆さんと交流しながら、これからも地域の健康作りを支えていきたいと思います。

部位別かんたん体操

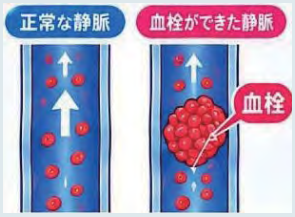
第一回目は「ふくらはぎ」の体操をご紹介します。

ふくらはぎ 第1回

リハビリテーション部では体の部位ごとに、無理なくできる体操をご紹介します。
ご自宅で簡単に続けられる体操をお届しますので、健康維持にお役立てください。

Q ふくらはぎの病気
下肢静脈血栓症とは?

A 長時間の同じ姿勢や運動不足で足の静脈に血のかたまり(血栓)ができる病気です。



血栓が肺に流れると「肺塞栓症」を起こすことも!

こんな人は注意!
- ☐ 長時間の座りっぱなし
- ☐ 手術後・ケガ
- ☐ 肥満・喫煙
- ☐ 高齢の方

こんな症状に注意!
- ☐ ふくらはぎの痛み
- ☐ むくみ
- ☐ 熱っぽい
- ☐ 皮膚の色が赤っぽい

気になる症状があれば、早めに受診してください。

「ふくらはぎ」の簡単エクササイズをご紹介します。 座ってもOK

ポイント

❶背筋を伸ばして、ゆっくり行いましょう。
❷痛みがある場合は無理をしないでください。
❸毎日続けることが大切です。

皆さまの声をお聞かせください

病院内7か所に設置しているご意見箱に寄せられた「メッセージカード」や「退院時アンケート」のご意見は、一つひとつ丁寧に確認したうえで、「患者サービス向上委員会」で話し合い、改善に取り組んでいます。今回は寄せられたご意見の一部をご紹介します。お気づきの点がございましたら、いつでも皆さまの声をお聞かせください。

患者さまの声

母が大変お世話になりました。
リハビリの先生、看護師さん、介護士さん、受付職員さん等いろいろな方々に丁寧に接していただいて母は楽しそうに入院生活を送ることができました。みなさんに教えていただいて折り紙の壁面飾りを作っていたのでびっくりしました。平成とうや病院の職員さんに感謝です。ありがとうございました。

回答

この度は、心温まる言葉をいただき、誠にありがとうございます。いただいた言葉を現場の励みとし、これからも「この病院に来て良かった」と思っていただけるよう、スタッフ一同、より一層の接遇・サービス向上に努めてまいります。

「十五夜」の壁面飾りinリハ室

中学生の職業体験時に、入院患者さまと一緒に壁面飾りを制作したものです

平成とうや病院 病院実績

（2026年6月～2026年8月）

- 外来患者延べ数　2,874人（1日平均　41.1人）
- 入院患者延べ数　12,330人（1日平均　134.0人）
- 急性期病院からの新規入院患者件数　176件
- 在宅復帰率　地域包括ケア病棟（西4）　77.9%
- 在宅復帰率　回復期リハビリテーション病棟（西3）　86.1%
- 在宅復帰率　回復期リハビリテーション病棟（東4）　91.8%

平成とうや病院　外来のご案内とアクセス

診療科目 ▶▶ 内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・リハビリテーション科
受付時間 ▶▶ 午前 8：30～11：30　午後 13：00～16：00
診療時間 ▶▶ 午前 9：00～12：00　午後 13：30～17：00
休 診 日 ▶▶ 土曜日午後・日曜・祝日・年末年始 ※第2･4･5土曜日は休診
お問合せ・外来予約 ▶▶ 平成とうや病院（代表） ☎ 096-379-0108

【外来担当医師表】

	月	火	水	木	金	土
午前	循環器内科 齊藤 忠興	循環器内科 後藤 和夫	リハビリテーション科 笠原 貴紀	呼吸器内科 森 孝志	リハビリテーション科 米村 憲輔	担当医 ※第2･4･5土曜日は休診
	循環器内科 ※ペースメーカー 鶴﨑（熊大）	リハビリテーション科 依光 茂太	循環器内科 齊藤 忠興	リハビリテーション科 依光 茂太	呼吸器内科 永野 潤二	
	消化器内科 有田 哲正	脳神経内科 岩谷 奈緒	呼吸器内科 森 孝志	脳神経内科 岩谷 奈緒	脳神経内科 伊藤 康幸	
	内 科 加来 以久子※1	内 科 加来 以久子※1	内 科 加来 以久子※1		内 科 加来 以久子※1	
エコー	熊本大学		熊本大学			
午後	呼吸器内科 大江（熊大）	リハビリテーション科 依光 茂太	脳神経内科 伊藤 康幸	消化器内科 有田 哲正	循環器内科 後藤 和夫	※1 10:30-12:00 ※2 13:30-15:00
		呼吸ケア専門外来 永野 潤二	循環器内科（心エコー） 熊大医師 ※16:00 迄	消化器内科 火野坂 淳		
	内 科 加来 裕※2		内 科 加来 裕※2		内 科 加来 裕※2	

平成とうや病院
☎ 096-379-0108
〒862-0963 熊本市南区出仲間8丁目2－15
ホームページ：https://www.tohya.or.jp/heisei/
e-mail ：heisei@tohya.or.jp

- ご質問や気になることはお気軽にご相談ください
- 企業様の健診・協会けんぽの健診も行っております
- 産業医お引き受けいたします

平成とうや病院
通所リハビリテーションセンター
訪問リハビリテーションセンター
熊本市南区出仲間8丁目2－15
（平成とうや病院1階）
営業日 ▶▶ 月～金曜日、土曜日午前
※土曜日午後・日曜日、年末年始は休み
お問合せ ▶▶ 通所リハビリ・訪問リハビリ直通
通所・訪問 TEL 096-283-8323
FAX 096-283-8331

患者様の権利

1. **公平で適正な医療を受ける権利**
患者さまの経済的・社会的地位、年齢、性別、疾患の種類にかかわらず、平等で適切な医療を受ける権利があります。
2. **医療上の情報、説明を受ける権利**
患者さまが自ら病状を理解するために全ての情報を知る権利、検査や治療の目的、方法、内容、危険性、予後および病状の経過に関して説明を受ける権利があります。
3. **十分な説明のもと自分自身の治療を決定する権利**
患者さまの自由な意思により、治療や検査を選択し、また拒否する権利があります。また、患者さまや家族の方が医師や病院を選び、セカンドオピニオン（＝主治医以外の医師に相談すること）を受ける権利を尊重しています。
4. **プライバシーが保証される権利**
患者さまの承諾なくして、患者さまに関する情報を診療に関与する医療従事者以外の第三者に開示されない権利があります。
5. **個人の尊厳が保証される権利**
患者さまの個人としての人格、価値観は尊重され、その尊厳をもってその生をまっとうする権利があります。

基本方針

1. すべての職種において、基本理念の理解と実践に情熱を持って取り組み、患者さまへの質の高い医療サービスの提供、職員の職場環境の向上を目指します。
2. 地域の皆さまが安心して過ごしていただけるよう、日々の研鑽に励み技術と知識の習得に努め、信頼される病院作りを目指します。
3. 患者様が最適な医療を継続して受けられるよう、地域の保健・福祉機関との密接な連携を図り、円滑な医療サービスの提供を目指します。
4. 環境に配慮しエコを心がけるとともに、災害時にもハード、ソフトの両面で医療を提供できるよう病院機能を維持します。
5. 良質な医療サービスを提供するために健全なる経営活動を行い、安定した経営基盤を構築します。

清和会 理念　**IDENTITY（個人）の尊重**
～For You あなたのために～

とうや医療福祉グループ

【医療法人清和会】
- 水前寺とうや病院 [142床]
  内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・リハビリテーション科
- 平成とうや病院 [160床]
  内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・リハビリテーション科
- 老人保健施設シルバーピア水前寺 [入所・短期入所72名]
- シルバーピア水前寺デイサービスセンター [通所介護50名]
- 在宅ステーション水前寺
  居宅介護支援事業所、訪問介護事業所
- 特定施設シルバーピアグランド通り [入居60名]
- 熊本市高齢者支援センターささえりあ 江津湖

【社会福祉法人百八会】
- 特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹 [50名、短期入所6名]